

前高特ガイド NO.10

～受検を考えている生徒さんと保護者、先生方へ～



作業能力検査

作業能力検査は、文字どおり「作業を行う能力」を確認します。
本校の教育課程では、「作業学習」が多いのが特徴となっており、生徒が「作業学習」にどのように取り組めるかを確認する検査となります。
評価の観点としては「**指示どおり**」、「**正確さ**」、「**速さ**」を確認します。



「作業能力」と言うけど、難しい作業をやるのかな・・・？
道具とかあまり使ったことがないけど、大丈夫かな・・・？

本校で「作業学習」が多いのは、将来の「**就労**」を目標としているからです。
そこで作業（身近なお仕事）を行う場合の基本的なことを確認しましょう。

- ・ **身支度**（身だしなみ、服や靴のひも結び、ベルトや布巾装着等）
- ・ **身近な道具使用**（はさみやカッター、えんぴつや定規、箸やスプーン等）
- ・ **清掃や片付け**（ほうきやちり取りの使い方、雑巾しぼり、物の整理等）

学校や家庭生活における「身近なお仕事」を、日々ていねいに頑張るようにしましょう。



運動能力検査



球技がとても苦手なんだよなあ・・・。
持久走のように苦しい検査があるのかな・・・？

運動能力検査は、受検生が今まで中学校の体育でやってきたこと（体操、球技、陸上競技など）が、「上手にできるか？」「速くできるか？」ということよりも、前高特で3年間学び、将来社会人として働くための「**基礎的な体力**」、「**指示どおりに行動できる力**」が重要です。
評価の観点としては「指示どおり」と並行して、運動能力における「**筋力**（走る、跳ぶ、物の運搬等）」、「**俊敏性**（動きの速さや危険回避）」、「**巧緻性**（体を思いどおりに動かす）」などを中学校体育での一般的な運動（体操、球技、陸上競技等）を通じて確認します。

